

レジメン名称: パクリタキセル(3投1休) + トラスツズマブ(毎週) q4w 乳癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日			
		1 コース 4 週間 Day 1.....8.....15.....22.....29			
パクリタキセル	80-100 mg/m ²	↓	↓	↓	
トラスツズマブ	初回 4 mg/kg、2 回目 ~ 2 mg/kg	↓	↓	↓	↓

レジメンオーダー以外に必要な処方

パクリタキセル投与日: レスタミン 5錠 1× 化学療法時 1回分

注意事項

心機能に注意 トラスツズマブ投与前には心機能を評価する (EF 50%以上)

パクリタキセル: アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時、運転等での来院について確認、注意すること。

パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

パクリタキセル初回および4週以上あいた時: 心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要 (詳細は下記参照)

投与方法: 1、8、15 日目	
1	生食 100mL (専用フィルター付き輸液セット使用) メインルートをプライミングし、止める
2	レスタミン(10mg) 5錠 内服
3	デキサート(1.65mg/0.5mL) 5A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5分以上かけて点滴、下の側管から投与
4	グラニセトロン 3mg/100mL 1V 30分かけて点滴、下の側管から投与
5	パクリタキセル _____ mg、5%ブドウ糖 250 mL 60分かけて、上の側管から投与 初回および4週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後: BP、HR 測定 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時後: 全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、搔痒感、気分不良、嘔気)
6	1の生食 100mLを使用して、ゆっくりウォッシュアウト、約15分、その後止める。 最後のウォッシュアウトで使用するので、使い切らないこと
7	トラスツズマブ _____ mg、生食 250mL 下の側管から投与 トラスツズマブは注射用水で溶解: 60mg/3mL、150mg/7.2mL 90分、(問題なければ) 次は60分、(問題なければ) 以降30分、下の側管から投与 注意: 点滴時間は前回投与から8週以上経過している時は90分で投与 (初回扱い)
8	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法: 22 日目	
1	(ケモセーフ不要) 生食 100mL、メインルートをプライミングし、止める
2	トラスツズマブ _____ mg、生食 250mL 側管から投与 トラスツズマブは注射用水で溶解: 60mg/3mL、150mg/7.2mL 90分、(問題なければ) 次は60分、(問題なければ) 以降30分、下の側管から投与 注意: 点滴時間は前回投与から8週以上経過している時は90分で投与 (初回扱い)
3	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄